

鈴木製作奮闘記 [活動報告No.065]

はじめに

Daytona 7月号にて記事を掲載していただきました！



取材内容は自分の製作スペースや作品などで、いつもより多い6ページも掲載していただいています。本屋で見かけた際は是非手に取ってみてください。

暑い日が続きますが今月もよろしくお祈りします。

富山市科学博物館にて講演とワークショップあります。

例年、夏は書き時計の展示があったりするのですが、今年は富山県にて講演があります。講演は企画展「英国カラクリ人形展」の関連イベントとしてあります。

- ・英国カラクリ人形展
7/16(土)-9/4(日)
- ・ワークショップ「振り子時計の組み立て」
7/30(土)
- ・講演「動く仕組みを考える」
7/31(日)

この英国カラクリ人形展には僕の作品は展示されないのをご了承ください。

講演は「動く仕組みを考える」というタイトルで、前に千葉県立現代産業科学館でお話しした内容を元に構成する予定です。

また、ワークショップでは振り子時計を組み立てます。

組み立てる振り子時計は仕組みがわかりやすいようなモデルを予定しています。

地方での展示ですが興味のある方はチェックしてみてください。

富山市科学博物館特別展

英国カラクリ人形

動きを動画で見よう！ YouTube

Automata

令和4年
7月16日(土) ▶ 9月4日(日)

開館 午前9時～午後5時(入館は午後4時半まで)
観覧 大人530円+特別展観覧料100円
(プラネタリウム1回観覧含む)
・高校生以下無料 ・小学生以下は保護者同伴
企業協力 株式会社 MOLEN
© Paul Spooner © Matt Smith

千939-8084
富山市西中野町一丁目 8-31
☎ 076-491-2123

関連イベント 要申込

- ワークショップ
振り子時計の組み立て
7月30日 午後2時～3時半
- からくり作家 鈴木完吾さんによる講演会
動く仕組みを考える
7月31日 午前10時半～11時半

※詳しくは博物館ホームページをCHECK！

富山市科学博物館特別展

英国カラクリ人形

主な展示品の作者紹介

ポール・スプナー
1948年イギリス生まれ。幼少時から機械に興味を持ちつつ、芸術大学で学んだ。代表的な現代からくり人形作家。1981年に代表作「アヌビス」を発表。作品は、応用工学が賞賛され、社会問題や風刺を込めたものも多く、深い味わいがある。

マット・スミス
1965年イギリス生まれ。当初エンジニアを志していたが、芸術大学で学ぶ。1980年から、からくり人形作家として活動。作品の多くをポール・スプナーとともに共同制作している。

最後の日トードー鳥 Last Dodo
アヌビスの工事 Anubis Jokkanner

仮面の下は誰? Head off Anubis
古代エジプトでは、ミイラを作る職人は、冥界の神アヌビスの仮面をつけて仕事をしていたそうです。ある日、ミイラ職人が仮面を外すと…

《》 経きは合編で！

ワークショップ
振り子時計の組み立て

からくり作家である鈴木完吾さんオリジナルの振り子時計キットを組み立て、動く仕組みについて学びます。

日時：7月30日(土) 午後2時～3時半
場所：富山市科学博物館 多目的学習室
対象：小学4年生以上(小学生は保護者同伴)
定員：10組(抽選)
材料費：3,300円(税込)
申込締切日：7月21日(木)

講演会
動く仕組みを考える

講師 鈴木完吾さん(からくり作家)

おもしろい動きをするからくり機構や、鈴木完吾さんが制作したからくり時計とおして、機構のつくりを紹介いたします。

日時：7月31日(日) 午前10時半～11時半
場所：富山市科学博物館 多目的学習室
定員：50人(申込順)
参加費：無料
申込期間：7月5日(火)～26日(火)

申込方法
富山市科学博物館ウェブサイトまたは往復ハガキ(締切日必着)に、以下の項目を記入してお申し込みください。

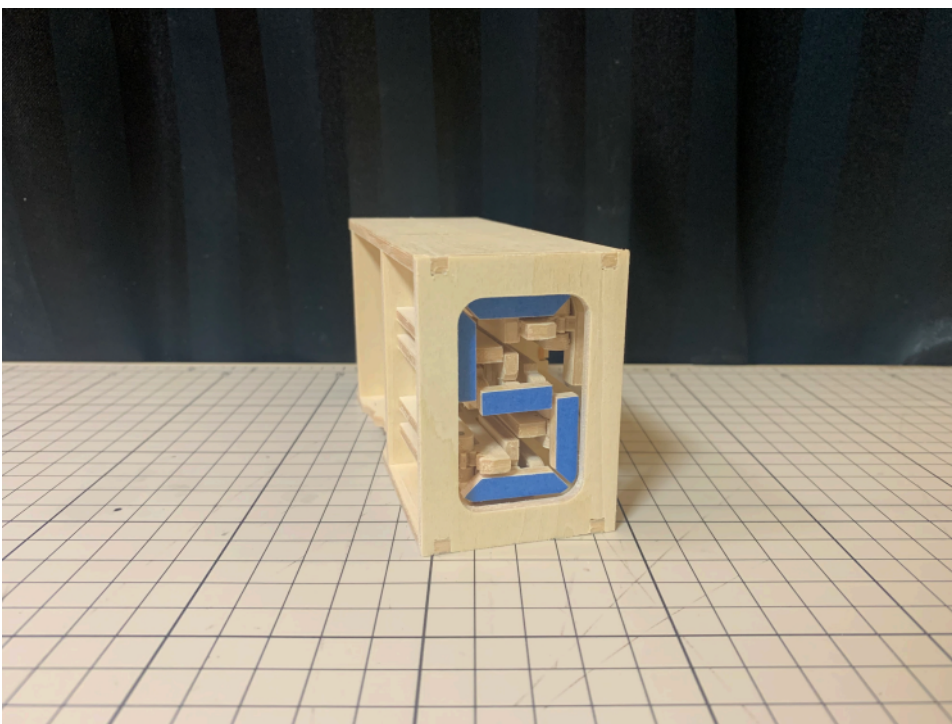
- イベント名と開催日
- 参加者全員の氏名と学年または年齢
- 郵便番号と住所
- 電話番号

千939-8084
富山市西中野町一丁目 8-31
☎ 076-491-2123

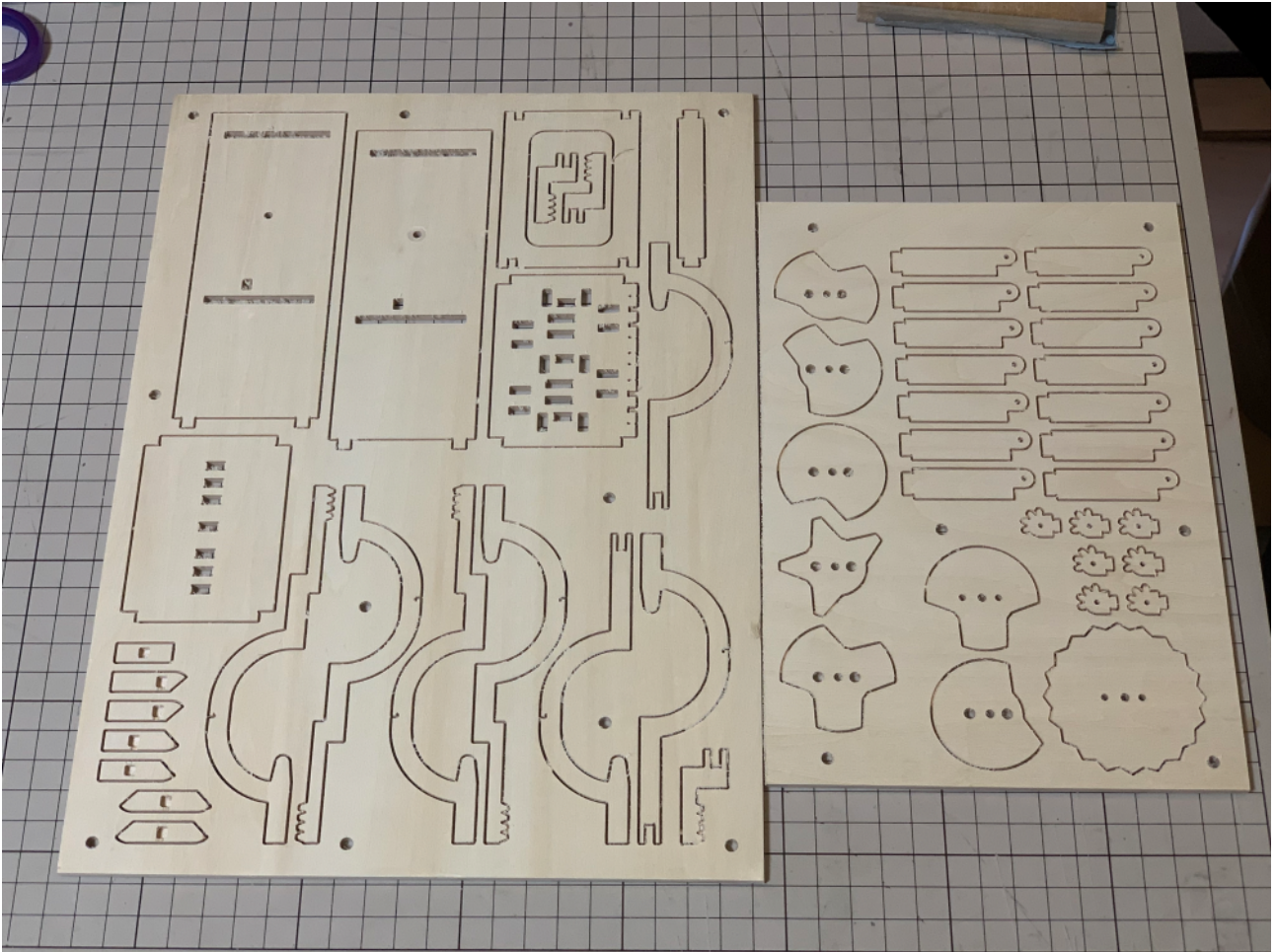
富山市科学博物館
TOTYAMA SCIENCE MUSEUM

それと、来年1月には東京で個展ができるかもです。コマーシャルギャラリーでの展示の予定でまだどうなるかわかりませんが、時期までに作品が充実していけばできそうです。

7セグメント表示器のキットを作りました。
先月から手にかけていたキットが出来上がりました。

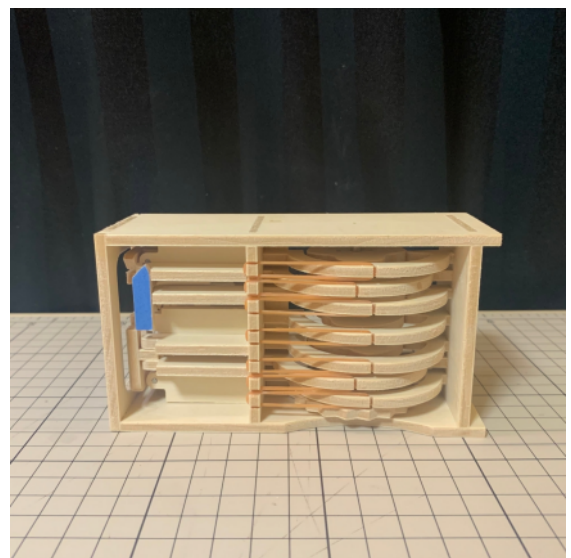
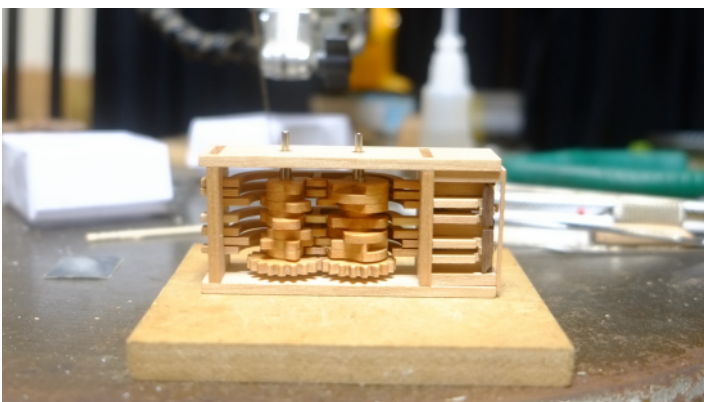


A4サイズとA5サイズの板から部品を取り外して組み立てていくモデルです。



キットは作品よりも難易度を下げた組み立てにすることがあったり、組み立て説明書を作ったり、作品を作るよりも大変だったりします。

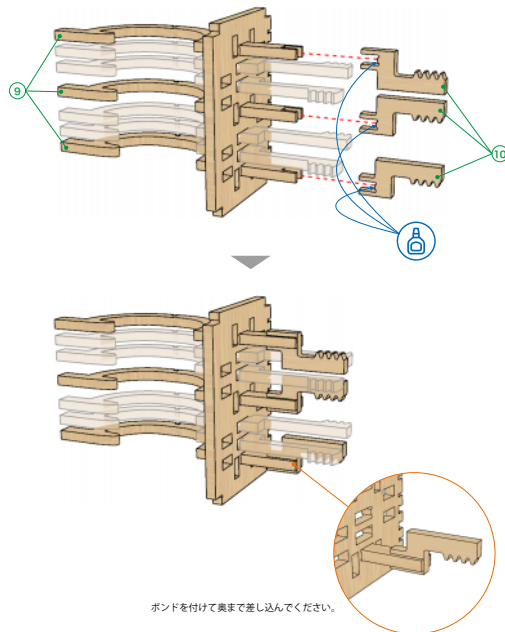
このキットで作れる7セグ表示器はオリジナルのものと同様に0~9までを順に表示できるものです。オリジナルと違うのはカムで構成で、オリジナルでは2枚のカムで従動節を挟むようにしていましたが。このキットでは1枚のカムにゴムを使って従動説を押し付けるようになっています。



そのためカムを回すときや組み立ての際には摩擦を感じるのですが、こういった実際に作ってわかる部分はキットにもあっていいのかなと思いました。
特に摩擦による抵抗はPC上の設計だけではわからない部分なので、これからからくりを作りたいという人にもいい経験を与えられるのかなと思いました。

組み立てには組み立て説明書を見ながら行います。
組み立て説明書はこんな感じのやつです。

- 部品 9 の先端に部品 10 を取り付けます。
- 向きが異なるので注意して組み立ててください。

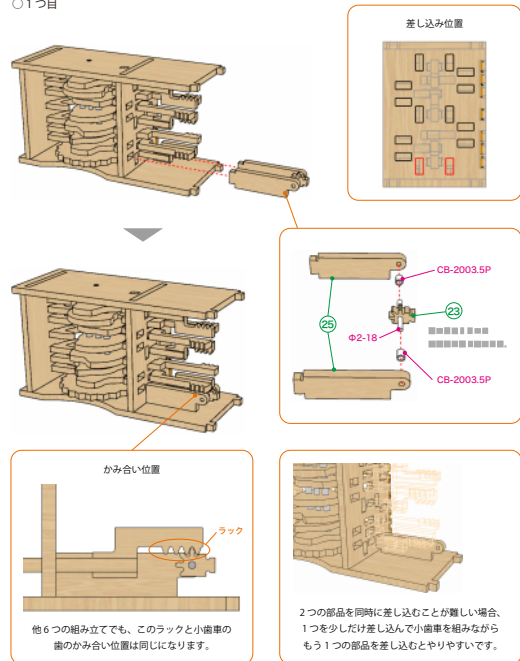


11

4. 小歯車の組み立て

- スライダの先端には直線上に歯が並んだ「ラック」がついています。
- 小歯車とかみ合うことで、スライダの直線運動を小歯車の回転運動に変換されます。

○ 1つ目



15

今月下旬にプレ販売的な感じで5セット作って販売したのですがすぐ売り切れてしまったので、また生産して販売する予定です。
販売や告知は販売ページ(<https://oishiiiosushi.thebase.in/>)で行う予定ですので気になる方はチェックしてみてください。

おすすめの本など

今月はキットのほうを進めていて書くネタがあまりないので、僕が作品制作などでよく参考にする本を2つ紹介します。

1つは「メカニズムの事典」です。



からくり機構がたくさん紹介されている本です。

僕のホームページにある機構アニメーションのネタ元でもあります。

掲載されている機構例は800以上あります。ただ、1機構あたりイラストが1枚なので、本のみで仕組みを理解するにはけっこう想像力があるかもしれないです。

本を見て、見よう見まねでCADで作ってみるといいかもです。

もう1つは「木材加工面がわかる 樹種事典」です。



こちらは235種の木材の特徴が写真と共に掲載されているものです。

この事典を参考に、使う木材を決めたりします。

色があるパドックやパープルハートなどの木材や、堅木のカシや黒檀なども掲載されており、加工した際の質感なども記載されています。

以上で終わります。

ありがとうございました。m(_ _)m